

プロジェクト進行中!

★エコタウン推進室
☎⑤1249

結し、再生可能エネルギーを中心とした創エネと徹底した省エネを進め、エネルギーの地産地の状況をお知らせします。

工業施設のエコ化



市内の事業者が実施する省エネや創エネの取り組みに助成を行っています。

ソーラーエネルギーの有効活用



住宅用太陽光発電システムへの助成をはじめ、民間事業者によるメガソーラー事業の推進を行っています。

防犯灯のLED化の推進



市内防犯灯のLED化を進めていきます。

公共施設・交通のエコ化



デマンド交通を導入し、効率的な運行を実施することにより、公共交通のエコ化を図りました。また、建設中の（仮称）市民プラザ跡地複合施設と（仮称）児玉総合支所複合施設もエコ化を図ります。

電力使用量の見える化による省エネ行動の推進



昨年度までにモデル地区で実施した実証事業の結果、HEMS※2での見える化による省エネ行動には、約10%の節電効果があることが分かりました。この結果を踏まえ、今年度は市全域を対象に助成を行う予定です。

※2 HEMSとは、ホームエネルギーマネジメントシステムの略で、電気の使用量をリアルタイムで確認できる機械です。

エコタウン

市では、平成24年5月1日に埼玉県と埼玉エコタウンプロジェクトの推進に関する協定を締結を実現することを目指しています。ここでは、創エネや省エネの推進のための主な取り組み

避難所の機能強化(シルクドームなど)

安全安心な生活を行ううえで重要な災害に強いまちづくりのため、避難所に再生可能エネルギーや省エネ技術を導入し、避難所機能の強化を図っています。



太陽光発電システム

平常時は施設に電力を供給することで、電力使用量を削減します。また、非常時にも施設内に電力を供給することができます。



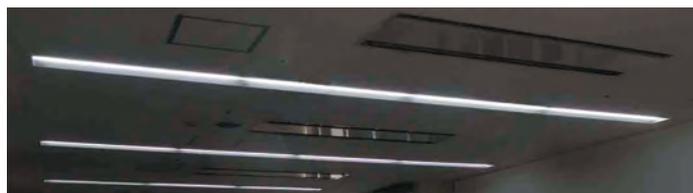
V2H^{※1}システム

非常時には電気自動車のバッテリーを施設のバックアップ電源とし、施設内に電力を供給することができます。

※1 V2Hシステムとは、ヴィークルトゥーホームシステムの略で、施設から電気自動車への充電だけでなく、電気自動車から施設への電力供給ができるシステムのことで。

太陽光発電・蓄電池付LED灯

昼間の太陽光で発電した電気を蓄電し、夜間の照明に充てています。また、停電時に避難所へ向かうための誘導灯として機能するほか、非常用コンセントも備えているため、非常時には通信機器などへ充電ができます。シルクドームをはじめ、避難所等に48基設置しています。



蛍光灯のLED化

消費電力が少ないため節電効果が高く、CO₂の削減に貢献します。また、長寿命のため、交換コストの削減にもなります。